

## 平成 23 年度 事業計画

# 持続的成長への基盤構築とグローバル経済への対応

自:平成 23 年 4 月 1 日

至:平成 24 年 3 月 31 日



神戸商工会議所

The Kobe Chamber of Commerce and Industry



# 【基本方針】 持続的成長への基盤構築とグローバル経済への対応

22 年度事業計画 (重点テーマ)	平成 22 年度の主な活動・成果(4 月～12 月)	平成 23 年度 重点テーマ	平成 23 年度の新たな取り組み等
1. 中小企業の販路拡大に向けたビジネスマッチング事業の強化	<p><b>【販路拡大】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○The 商談・販路開拓市、ものづくり企業商談会、ベンチャーと大企業との商談会等のビジネスマッチング事業を実施。</li> <li>○中小企業のアジア展開等の理解を深める「海外新市場研究会」を設置し、シリーズセミナー等を開催。</li> <li>○「中堅・中小企業の外需開拓に関するアンケート調査」を実施。</li> </ul> <p><b>【中小企業支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相談事業の実施（巡回相談 9,791 件／窓口相談 4,567 件）。</li> <li>○マル経融資の推薦（186 件／8 億 8,074 万円）。</li> <li>○国・県・市制度融資の斡旋（336 件／22 億 3,071 万円）。</li> <li>○中小企業応援センター事業で高度・専門的な相談 1,212 件に対応。</li> <li>○日本生産性本部の「実行力ある経営」認証評価企業として、「KCCI 経営革新塾」受講企業の 6 社が認定（認定企業数は全国で計 7 社）。</li> <li>○「KCCI 創業塾第 12 期」を開講し 40 名が受講。昨年度まで計 541 名が受講し、開業者は 145 名（開業率 26.8%）。</li> <li>○市内商業者約 1,800 店舗を対象とする「商業経営実態調査」を実施。</li> </ul> <p><b>課題</b> ■社会・経済環境の変化に応じた中小企業の経営革新 ■中小企業の販路開拓・受注拡大 ■中小企業の海外展開</p>	1. 中小企業の経営力強化と仕事づくり・販路拡大支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新に取り組む企業に対する顕彰制度の実施</li> <li>・大手企業との技術提携など中小企業のビジネスパートナー発掘支援</li> <li>・農業産地探訪マッチングツアーの実施等による農商工連携の推進</li> <li>・老舗店舗、知られざる地域の名店などのPR・販売促進支援</li> <li>・課題対応型経営サポート事業の拡充</li> </ul>
2. デザイン都市・医療産業都市づくり等による新たな活力創出	<p><b>【医療産業都市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ヘルスケア（健康・医療）産業の創出・育成に関する調査」を実施。</li> <li>○神戸国際医療交流推進協議会を設立。</li> </ul> <p><b>【デザイン都市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○KOBE デザインコンペティションを実施。7 社のデザイン案件に対し、51 名のデザイナーより 176 作品の応募。</li> <li>○「神戸デザイナーズネット」の拡充（登録デザイナー194 社、643 人）。</li> </ul> <p><b>課題</b> ■ヘルスケア（健康・医療）分野への地元企業の進出 ■中小企業のデザイン活用</p>	3. 医療産業都市、デザイン都市を核とした次世代・高付加価値産業の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスケア（健康・医療）産業創出・育成フォーラムの開催</li> <li>・神戸医療産業都市構想進出企業と会員企業との交流事業の拡充</li> <li>・優れたデザイン商品等の評価認定事業の実施</li> <li>・デザイン経営に関するセミナーの開催</li> <li>・企業とデザイナーとのビジネスマッチングの促進</li> </ul>
3. 賑わい創出、ホスピタリティ向上に向けた集客観光事業の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中国人観光客とのコミュニケーション支援ツール「歓迎光臨神戸」を作成し、商店街等へ配布。</li> <li>○市内 12 カ所、70 店舗を巡る商店観光ツアーを開催。</li> <li>○産業観光専用サイト「こうべバーチャル産業観光」を開発。</li> <li>○第 4 回神戸学検定を実施し、726 名（初級 524 名、中級 202 名）が受験。</li> <li>○観光ガイドボランティア養成講座を開催し、参加者 28 名のうち 15 名を新たにボランティアガイドとして登録。</li> <li>○兵庫県、神戸市とともに大河ドラマ「平清盛」兵庫・神戸推進協議会を設立。</li> </ul> <p><b>課題</b> ■交流人口拡大による地域経済の活性化 ■急増する外国人観光客への対応と更なる誘致促進 ■関西圏での広域連携による観光振興</p>	4. 環境と経済の両立を踏まえた地球環境問題への対応 (新規)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手・中小企業の省エネ・マッチングフォーラムの開催</li> <li>・中小企業のための環境ビジネスセミナーの開催</li> <li>・国内クレジット制度ソフト支援事業の実施</li> </ul>
4. 神戸空港、神戸港など産業インフラの競争力強化と整備促進	<p><b>【神戸空港関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関西 3 空港懇談会において、関西 3 空港の一元管理を合意。</li> <li>○関空・伊丹の 2 空港統合を進める国交省等に対し、関西 3 空港一体運用、神戸空港の機能強化を要望。</li> </ul> <p><b>【神戸港関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国交省等に対し、阪神港の国際コンテナ戦略港湾選定を要望。</li> <li>○阪神港が国際コンテナ戦略港湾に選定。</li> </ul> <p><b>【高速道路関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国交省等に対し、ミッシング解消に向けた高速道路網の整備を要望。</li> </ul> <p><b>課題</b> ■神戸空港の規制緩和の実現 ■国際コンテナ戦略港湾阪神港の機能強化及び集荷体制の構築 ■大阪湾岸道路西伸部の整備促進</p>	6. 神戸空港、国際コンテナ戦略港湾阪神港など産業インフラの競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸空港の機能強化及び関西3空港の一体的効率運用の実現</li> <li>・国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた支援</li> <li>・大阪湾岸道路西伸部など幹線道路網の整備促進</li> </ul>
5. 組織力強化に向けた会員増強運動等の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役員・議員の改選を行い、大橋会頭新体制がスタート。</li> <li>○各種共済制度や労働保険事務代行サービス、健康診断サービス、映画試写会、バス旅行等の会員サービス事業を実施。</li> <li>○会員ビジネス交流会、支店長・支社長懇談会等の会員交流事業を実施。</li> </ul> <p><b>課題</b> ■会員減少への対応など組織・財政基盤の強化 ■会員ニーズにマッチしたサービス・事業の拡充、開発 ■新たな行動計画の策定</p>	7. 組織基盤の強化と会員メリットの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員フォローアップ活動の実施</li> <li>・1 会員 1 社紹介運動の実施</li> <li>・中期行動計画（経済ビジョン）の策定</li> </ul>

# 平成 23 年度事業計画

## 【基本方針】

### 持続的成長への基盤構築とグローバル経済への対応

わが国経済は、慢性的なデフレや個人消費の低迷、さらには円高の長期化などにより、ここに来て足踏み状態が続いており、先行きの不透明感が増大している。とりわけ、地域経済を支える中小企業においては、受注の減少など深刻な経営環境が続いており、閉塞感が一層強まっている。

こうした中、神戸商工会議所は、平成 23 年度において、『持続的成長への基盤構築とグローバル経済への対応』を基本方針として、直面する厳しい経営環境を打開すべく、中小企業の経営支援に総力を挙げて取り組むとともに、グローバル化の進展をはじめ、社会経済情勢の変化に対応した新たな産業経済の活性化、国際都市・神戸に相応しい街づくりの推進などに積極的に取り組む。

特に、重点テーマとして、(1)中小企業の経営力強化と仕事づくり・販路拡大支援、(2)グローバル化への対応と中小企業の海外展開支援、(3)医療産業都市、デザイン都市を核とした次世代・高付加価値産業の創造、(4)環境と経済の両立を踏まえた地球環境問題への対応、(5)大河ドラマなどを活用した集客力強化と都市魅力の発信、(6)神戸空港、国際コンテナ戦略港湾阪神港など産業インフラの競争力強化、(7)組織基盤の強化と会員メリットの拡充、の 7 テーマを掲げ、事業活動のさらなる拡充を図る。

## 【重点テーマ】

### I. 中小企業の経営力強化と仕事づくり・販路拡大支援

地域経済の核である中小企業が、時代の大きな潮流・構造変化に対応し、経営革新やイノベーション向上等を通じた経営力強化を図るため、各分野の専門性を有する機関とのネットワーク等を活用し、ワンストップでの経営相談機能の確立に取り組む。また、中小企業の仕事づくり、販路拡大に向けて、「The 商談・販路開拓市 in KOBE」をはじめ、ビジネスマッチング事業を拡充する。

## Ⅱ. グローバル化への対応と中小企業の海外展開支援

経済のグローバル化が進展する中、成長著しい新興国等の活力を取り込むため、海外ビジネス情報の提供や海外展開に関する相談、海外企業との取引斡旋事業等を通じ、中小企業のグローバル化支援に取り組む。また、海外へのビジネスミッションの派遣や、諸外国からの訪問団の受け入れ、貿易投資セミナー等を通じ、経済交流の促進と国際ビジネス取引の増進を図る。

## Ⅲ. 医療産業都市、デザイン都市を核とした次世代・高付加価値産業の創造

神戸経済の次代を担う高付加価値産業の創造や、内外から研究者、デザイナーなどクリエイティブな人材の集積を図るため、アジアのメディカルセンターの形成促進をはじめ神戸医療産業都市構想を展開するとともに、デザイン都市・神戸の一層の推進に取り組む。

## Ⅳ. 環境と経済の両立を踏まえた地球環境問題への対応

地球温暖化対策の推進が求められる中、地球環境問題への対応は、中小企業にとって新たな成長の原動力であるとともに、わが国が強みを活かして世界に貢献できる分野であることを踏まえ、「環境と経済の両立」の観点に立ったビジネスチャンス創造などに積極的に取り組む。

## Ⅴ. 大河ドラマなどを活用した集客力強化と都市魅力の発信

平成 24 年の放映が決定した大河ドラマ「平清盛」や、本年 11 月に初めて開催される「神戸マラソン」などを活用し、神戸の魅力を内外に発信するとともに、関連事業を通じた賑わい創出、集客力の強化を図る。また、神戸の観光資源や、特色ある商店街、工場群の集積など、地域情報の発信に取り組む。

## Ⅵ. 神戸空港、国際コンテナ戦略港湾阪神港など産業インフラの競争力強化

運用時間延長はじめ神戸空港の規制緩和、関西 3 空港の一体運用に向けた取り組みの推進、大阪湾岸道路西伸部など幹線道路網の整備促進、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の競争力強化など、陸・海・空の機能拡充に取り組む。

## Ⅶ. 組織基盤の強化と会員メリットの拡充

当商工会議所の組織力底上げをはかり、事業活動をより一層強力に展開するため、引き続き会員増強運動や新たな会員サービス事業の拡充等に取り組む。

また、神戸経済を取り巻く社会経済情勢の変化などを踏まえ、中期的な観点から当商工会議所が取り組むべき活動内容等を定めるため、新たに中期行動計画を策定する。

## I. 中小企業の経営力強化と仕事づくり・販路拡大支援

### 1. 経営力向上支援策の拡充

#### (1) 経営革新・イノベーション向上の支援

- ・KCCI 経営革新塾の拡充
- ・経営革新に取り組む企業に対する顕彰制度の実施☆
- ・知的資産経営の推進☆
- ・課題対応型経営サポート事業の拡充
- ・ISO・プライバシーマーク等認証取得支援事業の推進
- ・サムライ神戸ネットワークの運営と利用促進
- ・KCCI 創業塾、ネットショップ開業セミナーの開催及びフォローアップ支援

#### (2) 中小企業の経営改善・資金繰り支援の強化

- ・経営改善普及事業の浸透に向けた事業所訪問の強化
- ・経営・資金繰り相談窓口の設置並びにITを活用した経営相談の実施
- ・小規模事業者経営改善資金融資(マル経融資)等の推進
- ・公的融資制度等に関する説明会・相談会の開催

#### (3) 中小企業の再生・事業承継・事業継続計画支援

- ・ひょうご中小企業経営安定・継続支援事業の実施
- ・兵庫県中小企業再生支援協議会の運営
- ・事業承継の円滑化並びに中小企業向けM&Aサポート事業の実施

### 2. 販路拡大・ビジネスマッチング事業の強化

#### (1) 商談会・マッチング事業の開催

- ・大手企業との技術提携など中小企業のビジネスパートナー発掘支援☆
- ・The 商談・販路開拓市 in KOBE の開催などマッチング商談会の拡充
- ・農業産地探訪マッチングツアーの実施等による農商工連携の推進☆

#### (2) 情報発信を通じた販路拡大支援

- ・インターネットを活用した中小企業の販路拡大支援
- ・老舗店舗、知られざる地域の名店などのPR・販売促進支援☆

### 3. 人材確保・育成事業の実施

#### (1) 中小企業の人材確保支援

- ・人材確保や雇用安定に関する奨励金・助成金制度説明会の開催
- ・合同面接会など人材マッチング事業の実施
- ・雇成型職業能力訓練(ジョブ・カード制度)を活用した人材の確保・育成支援
- ・人事担当者交流懇談会の開催☆

#### (2) キャリアアップのための人材育成支援

- ・分野別・階層別セミナー等 KCCI ビジネススクールの実施
- ・各種ビジネス検定試験の実施

## Ⅱ. グローバル化への対応と中小企業の海外展開支援

### 1. 中小企業の海外ビジネス展開支援

- ・中小企業の海外ビジネス展開に関する調査の実施☆
- ・海外ビジネス展開に関するセミナーの開催☆
- ・地元製造業と中小貿易商社などとの商談交流会の開催☆
- ・国際取引に関する相談事業の拡充
- ・海外市場開拓のためのビジネスミッションの派遣

### 2. 国際ビジネス交流の促進

- ・経済連携協定(EPA)の活用促進
- ・在関西外国人ビジネスマンなどとの交流促進
- ・特定原産地証明など貿易関係証明書の発給
- ・入国管理局との懇談会の開催

## Ⅲ. 医療産業都市、デザイン都市を核とした次世代・高付加価値産業の創造

### 1. 神戸医療産業都市構想の推進

- ・高度専門病院群の集積による「アジアのメディカルセンター」の形成促進
- ・神戸医療産業都市構想進出企業と会員企業との交流事業の拡充
- ・ヘルスケア(健康・医療)産業創出・育成フォーラムの開催☆

## 2. デザイン都市・神戸の推進

- ・企業とデザイナーとのビジネスマッチングの促進
- ・優れたデザイン商品等の評価認定事業の実施☆
- ・デザイン経営に関するセミナーの開催☆
- ・都心ウォーターフロントの活性化促進

## 3. 次世代スーパーコンピュータの利用促進

- ・次世代スーパーコンピュータの整備推進
- ・(財)計算科学振興財団、次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会を中心とした産業利用の促進と裾野拡大・底上げ支援

# IV. 環境と経済の両立を踏まえた地球環境問題への対応

## 1. 環境ビジネスの振興

- ・大手・中小企業の省エネ・マッチングフォーラムの開催☆
- ・中小企業のための環境ビジネスセミナーの開催☆

## 2. 地球環境問題への対応

- ・国内クレジット制度ソフト支援事業の実施☆
- ・地球温暖化対策の中期目標、環境税等に関する意見・要望活動の実施

# V. 大河ドラマなどを活用した集客力強化と都市魅力の発信

## 1. 観光集客の推進

- ・大河ドラマ「平清盛」などを活用した国内観光客の誘致強化☆
- ・インバウンド誘致事業の実施☆
- ・京都・大阪商工会議所等との連携による広域観光の推進☆

## 2. 市内各地域における賑わい創出

- ・神戸ルミナリエや神戸まつり、神戸マラソンなど集客イベントの開催支援
- ・商店観光ツアーの実施などを通じた地域の賑わいづくり
- ・神戸学検定の実施

## VI. 神戸空港、国際コンテナ戦略港湾阪神港など産業インフラの競争力強化

1. 神戸空港の機能強化及び関西3空港の一体的効率運用の実現
2. 国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた支援
3. 大阪湾岸道路西伸部など幹線道路網の整備促進

## VII. 組織基盤の強化と会員メリットの拡充

### 1. 会員組織力の強化

- ・会員増強の推進
- ・会員フォローアップ活動の実施
- ・1会員1社紹介運動の実施

### 2. 会員参加型事業の拡充

- ・女性経営者倶楽部など経営者勉強会・研究会の開催
- ・ビジネス交流会の拡充

### 3. 会員サービス事業の拡充

- ・共済・保険制度、労働保険事務組合など会員サービス事業の運営
- ・スケールメリット等を活用した新たな会員サービスメニューの開発

### 4. 広報機能の強化

- ・支部通信「KCCI CROSS」及び「指導成果事例集 サポートガイド」の発刊☆
- ・商工会議所活動に関する情報発信の強化

### 5. 景気回復等に向けた政策要望・提言活動の強化

- ・中期行動計画(経済ビジョン)の策定☆
- ・地域経済動向調査の実施

### 6. 広域連携・産学連携等による事業効果の発揮

- ・関西広域連合の取り組み支援☆
- ・近畿商工会議所連合会、兵庫県商工会議所連合会との連携強化
- ・大学との合同セミナー、交流会など産学連携の推進

以上

## 平成 23 年度事業計画(事業概要)

## I. 中小企業の経営力強化と仕事づくり・販路拡大支援

### 1. 経営力向上支援策の拡充

#### (1) 経営革新・イノベーション向上の支援

##### ・KCCI 経営革新塾の拡充

中小企業の経営者、後継者、経営幹部等を対象に、組織の改善・革新活動に向けて自社のマネジメント力を高める講座の実施により、参加企業の経営力を高め、環境変化等に柔軟に対応しながら革新し続ける企業を創出する。

##### ・経営革新に取り組む企業に対する顕彰制度の実施☆

中小企業の実践力を高めながら経営体質の強化が可能なマネジメント強化プログラムの導入を促進するため、当商工会議所の経営革新塾と日本生産性本部「実効力ある経営認証」評価制度を連動した顕彰制度を実施する。

##### ・知的資産経営の推進☆

近年、企業の競争力の源泉として、人材、技術、ブランド等の目に見えない知的資産を強みとして「見える化」し、これを有効に活用して業績の向上に結び付ける知的資産経営への関心が高まっており、関連セミナーの開催や専門家派遣等の実施による報告書の作成等、中小企業における知的資産経営の啓蒙・普及を図る。

##### ・課題対応型経営サポート事業の拡充

中小企業が抱えている経営課題に画一的な対応をするのではなく、外部専門家等の活用も行いながら経営課題を明確化し、適切・効果的な支援を行い、課題解決を図る。

##### ・ISO・プライバシーマーク等認証取得支援事業の推進

ISO シリーズやプライバシーマークなど中小企業の認証取得を支援するため、導入を希望する事業所へのコンサルティングを実施するとともに、経営者を対象とした普及啓発セミナーや、導入済みの事業所における各規格の運用を支援する内部監査員養成セミナー等を開催する。

##### ・サムライ神戸ネットワークの運営と利用促進

神戸市内外で活躍する弁護士、司法書士、弁理士、公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、行政書士、不動産鑑定士、1級ファイナンシャルプランニング技能士、土地家屋調査士の11業種の“士(サムライ)業”の相互交流を促進するとともに、会員事業所とのマッチングを支援するため、引き続きサムライ神戸ネットワーク事業を実施する。

#### ・KCCI 創業塾、ネットショップ開業セミナーの開催及びフォローアップ支援

新たに事業を起こそうとする人や創業間もない人、社内起業家や新事業を創造するビジネスリーダーなどを対象に、ビジネスの立ち上げや経営に必要な知識を学ぶ、KCCI 創業塾と、ネットショップの立ち上げを目指す人を対象に、成功に結び付く運営ノウハウ等を学ぶセミナーを開催する。また、個別の事業計画・資金計画等に対するフォローアップ支援を行う。

### (2) 中小企業の経営改善・資金繰り支援の強化

#### ・経営改善普及事業の浸透に向けた事業所訪問の強化

経営改善普及事業の一層の浸透を図るため、経営指導員による管内事業所の巡回訪問を強化する。

また、当商工会議所の普及活動に加え、業界団体や各種士業、金融機関等との連携を強化し、支援施策のより効果的な浸透を図る。

#### ・経営・資金繰り相談窓口の設置並びにITを活用した経営相談の実施

公的融資制度の利用や返済負担の軽減など金融をはじめとする各種経営相談にきめ細かく対応するため、資金繰り・経営相談窓口を引き続き設置する。

また、相談者の利便性向上に向けて、新たにEメールによる相談に対応する。

#### ・小規模事業者経営改善資金融資(マル経融資)等の推進

小規模事業者等の資金ニーズに応えるため、当商工会議所が日本政策金融公庫に推薦を行う小規模事業者経営改善資金融資(マル経融資)制度や、兵庫県・神戸市の中小企業融資制度等の斡旋に取り組む。

#### ・公的融資制度等に関する説明会・相談会の開催

公的融資制度の一層の周知及び利用促進を図るため、中小企業等を対象に説明会・個別相談会を開催する。

### (3) 中小企業の再生・事業承継・事業継続計画支援

#### ・ひょうご中小企業経営安定・継続支援事業の実施

倒産の危機にある県下小規模企業を支援するため、弁護士や中小企業診断士、金融機関経験者等で構成する専門チームを設置し、窓口相談や出張相談などを通じ、関係機関とも連携しながら個別の課題に対し最適な支援策を提案する。

#### ・兵庫県中小企業再生支援協議会の運営

主に金融・財務面で問題を抱えているが、コア事業の収益力が認められるなど、再生の可能性が高い県下中小企業を対象に相談窓口を設置し、関係機関が連携して再生を支援する。

### ・事業承継の円滑化並びに中小企業向けM&Aサポート事業の実施

中小企業の事業承継を支援するため、相談窓口を設置するとともに、関連セミナーの開催等による普及・啓発活動に努める。

また、平成 15 年より㈱みなと銀行と提携し、運営している「兵庫式M&Aサポートシステム」を活用し、事業承継に関する個別案件に対処する。

## 2. 販路拡大・ビジネスマッチング事業の強化

### (1) 商談会・マッチング事業の開催

#### ・大手企業との技術提携など中小企業のビジネスパートナー発掘支援☆

企業間の技術開発競争や新商品開発競争が激化する中、中小企業が自社技術だけでなく他社が持つ技術やアイデアを組み合わせ、革新的な商品やビジネスモデルを生み出すため、商工会議所版“オープン・イノベーション”システムを開発するとともに、それを基にしたビジネスパートナー発掘を支援する。

また、規模・業種に関係なく企業の様々な困りごと(＝ニーズ)を公開し、解決策(＝シーズ)の提案を行える企業とのマッチング商談会を開催する。

#### ・The 商談・販路開拓市 in KOBE の開催などマッチング商談会の拡充

中小企業の販路拡大を支援するため、大手流通業のバイヤーに対し、県下の中小サプライヤーが直接商品売り込む逆見本市形式の商談会「The 商談・販路開拓市」をはじめ、中小企業と大手製造業、中小企業と大手食品卸売業など、様々な切り口によるマッチング商談会を開催する。

#### ・農業産地探訪マッチングツアーの実施等による農商工連携の推進☆

地域固有の農産物の活用に関心を持つ食品メーカーや飲食店、農村・農産地の支援を通じたCSRを検討する企業などを対象に、県下農産地を訪問する仕入・探訪ツアーを実施し、企業と農業生産者の交流を通じたネットワークづくり、取引拡大を図る。

### (2) 情報発信を通じた販路拡大支援

#### ・インターネットを活用した中小企業の販路拡大支援

中小企業のインターネットを活用した販路拡大、広報宣伝を支援するため、「ビジネスブログ提供サービス」や、会員企業のポータルサイト「神戸ビジコレ」を引き続き提供する。

#### ・老舗店舗、知られざる地域の名店などのPR・販売促進支援☆

「個店探求～LOCALS～」と銘打ち、地域に根を張り、長年愛されてきた小規模な老舗店舗・企業を発掘・記録し、その価値を内外に発信する事業に取り組むほか、地域の知られざる名店の商品・サービス等をエリアごとに紹介するツールを新たに作成・配布し、個店の販売促進を支援する。

### 3. 人材確保・育成事業の実施

#### (1) 中小企業の人材確保支援

##### ・人材確保や雇用安定に関する奨励金・助成金制度説明会の開催

国の奨励金や助成金制度等の活用を促し、各事業所の人材確保や雇用維持を支援するため、同制度等に関する説明会を開催する。

##### ・合同面接会など人材マッチング事業の実施

平成 24 年卒業予定者や既卒求職者に働く場としての中小企業の魅力を伝えるとともに、地元企業の人材確保を支援するため、兵庫県経営者協会との共催による合同企業説明会を開催するほか、事業拡大が見込まれる中小企業経営者によるプレゼンテーション機会を通じて、意欲的な学生層とのお見合いの場を設ける。

また、厳しい雇用環境の中、優れた人材の確保を望む中小企業と求職者のマッチング機会を提供するため、中途採用者向け合同就職面接会などを開催する。

##### ・雇用型職業能力訓練(ジョブ・カード制度)を活用した人材の確保・育成支援

職業能力形成の機会に恵まれない層に対し、企業現場等での実践的な職業訓練によるキャリア形成を促すため、「兵庫県地域ジョブ・カード企業支援センター」(仮称)の活動を通じて、ジョブ・カード制度の普及促進を図る。当商工会議所では、特に中小企業の人材確保・育成を図る立場から、実施企業の掘り起こしや訓練計画の認定、助成金の申請手続きなどについて総合的に支援する。

##### ・人事担当者交流懇談会の開催☆

会員企業の人事担当管理職などによる交流会を開催し、情報交換や人的ネットワーク構築の場としての活用を促す。

併せて、雇用施策に係る意見聴取や、セミナー・検定試験等の顧客モニターとしての役割も期待する。

#### (2) キャリアアップのための人材育成支援

##### ・分野別・階層別セミナー等 KCCI ビジネススクールの実施

会員企業の人材育成を支援するため、「KCCI ビジネススクール」として、新入社員から経営トップに至る階層別研修や、営業・総務・経理などの分野別研修を開講する。

また、個別企業の要望に応じた社内研修を企画受託するオーダーメイド研修のほか、提携講座などの各種セミナー・講座や、一般市民を対象としたパソコン教室などを開講する。

##### ・各種ビジネス検定試験の実施

商工会議所の検定試験は、ビジネス実務に直結した内容となっており、全国統一基準で実施される公的な資格試験として、産業界に多くの人材を輩出してきた実績から、社会的に高い信頼と評価を得ている。

当年度は、以下の 9 種類の検定試験ほかを実施する。

- ①簿記検定(6・11・2月)、②販売士検定(7・10・2月)、③珠算能力検定(6・10・2月)、
- ④カラーコーディネーター検定(6・12月)、⑤ビジネス実務法務検定(7・12月)、
- ⑥福祉住環境コーディネーター検定(7・11月)、⑦環境社会(eco)検定(7・12月)、
- ⑧ビジネス会計検定(9・3月)、⑨メンタルヘルス・マネジメント検定(10月・3月)ほか

## Ⅱ. グローバル化への対応と中小企業の海外展開支援

### 1. 中小企業の海外ビジネス展開支援

#### ・中小企業の海外ビジネス展開に関する調査の実施☆

中小企業の海外ビジネス展開に関するニーズや現状の取り組み状況、抱えている課題などを把握するため、会員企業を対象にアンケート調査を実施する。

#### ・海外ビジネス展開に関するセミナーの開催☆

中小企業の海外ビジネス展開のスタートアップを支援するため、「海外取引の経験はないが関心がある企業」、「これから取り組む予定だが何から着手してよいか分からない企業」などを対象に、JETRO 神戸等と連携した入門セミナーを開催する。

また、有望な海外市場に関する情報提供や事例研究などを行う実践的なセミナーをシリーズで開催し、会員企業の情報収集に寄与する。

#### ・地元製造業と中小貿易商社などとの商談交流会の開催☆

地元製造業の海外市場開拓の足掛かりとするため、神戸貿易協会、JETRO 神戸などと連携し、海外に販路を求める地元製造業と中小貿易商社などとの商談交流会を開催する。

#### ・国際取引に関する相談事業の拡充

海外ビジネス展開の活発化に伴い、輸出入手続きや契約、トラブル対処などに関する相談が増加しているため、日本商事仲裁協会や JETRO 神戸などとの連携のもと、各種相談への対応を強化する。アドバイザーに国際ビジネス経験のある企業 OB などを活用するほか、相談内容や相手国などのデータベースの整備を行う。

#### ・海外市場開拓のためのビジネスミッションの派遣

有望な市場の開拓を目的に、国際ビジネス委員会と貿易部会が主体となり、海外へビジネスミッションを派遣し、現地企業との商談、関係先訪問、現地企業の視察などを行う。

併せて、訪問国に関するビジネス情報提供やミッションの周知を兼ねたセミナーなどを開催する。

## 2. 国際ビジネス交流の促進

### ・経済連携協定(EPA)の活用促進

海外との取引において関税面などの優遇が享受できるEPA(経済連携協定)の利用促進を図るため、京都・大阪商工会議所、関経連等と合同セミナーを開催する。

### ・在関西外国人ビジネスマンなどとの交流促進

会員企業と神戸を中心とする在関西の外国人ビジネスマン・外交官・研究者等との交流促進を図るため、米国商工会議所関西支部、神戸外国人倶楽部、神戸青年会議所等との共催により、国際ビジネス交流会を引き続き開催する。

### ・特定原産地証明など貿易関係証明書の発給

地元企業の貿易取引の便益に供するため、非特惠原産地証明書をはじめとする貿易証明書、経済連携協定(EPA)に基づく特定原産地証明書(シンガポール、メキシコ、マレーシア、チリ、タイ、インドネシア、ブルネイ、アセアン、フィリピン、ベトナム、スイス向け)を引き続き発給する。

今年度は、新たにペルー、インドとのEPAが発効する見通し。

### ・入国管理局との懇談会の開催

外国人の入国に関する手続きの簡素化やトラブル解決を図るため、外国人社員・研究者を抱える企業・団体・機関と入国管理局との懇談会を引き続き開催する。

## Ⅲ. 医療産業都市、デザイン都市を核とした次世代・高付加価値産業の創造

### 1. 神戸医療産業都市構想の推進

#### ・高度専門病院群の集積による「アジアのメディカルセンター」の形成促進

高度専門病院・大学・研究所・教育機関・企業などの医療関連機関が集結した「アジアのメディカルセンター」の形成に向け、先端医療・研究開発・人材育成の機能を備える。「神戸国際フロンティアメディカルセンター(KIFMEC)構想」の実現を支援するとともに、神戸国際医療交流推進協議会(会長:家次副会頭)の活動を通して、国内のみならず、アジア、世界に医療で貢献するメディカルクラスターの実現に努める。

#### ・神戸医療産業都市構想進出企業と会員企業との交流事業の拡充

ポートアイランド第2期に集積する医療関連企業と市内の会員企業との交流・連携を促進するため、神戸市、先端医療振興財団等との連携によりセミナー・交流会を開催する。

また、進出企業と会員企業との個別具体のマッチングに発展させるため、進出企業が求める提携先・取引先等のニーズのヒアリングを行い、内容に応じて会員企業との

引き合わせを行う。

#### ・ヘルスケア(健康・医療)産業創出・育成フォーラムの開催☆

地元企業のヘルスケア(健康・医療)分野の取り組みを通じた、地域産業の活性化をはかるため、「健康関連機器」、「機能性食品」、「IT」、「医療ツーリズム」等の先進事例を紹介するフォーラムを開催する。

フォーラムでは、ヘルスケア分野の個別具体テーマに焦点を当てた情報提供もを行い、地元企業における同分野の取り組みを支援するとともに、企業、大学・研究機関等のコラボレーションを促進する。

## 2. デザイン都市・神戸の推進

#### ・企業とデザイナーとのビジネスマッチングの促進

「神戸デザイナーズネット」登録デザイナーと会員企業経営者等の人的交流を促進し、ビジネスが生まれやすい環境を造るため、マッチング交流会を開催するとともに、「神戸デザイナーズネット」ホームページの運営を通じたビジネスマッチング促進に努める。

また、デザインの利活用を促進するため、デザインを求める複数企業による合同デザインコンペを実施するとともに、成果物を会報誌等で広報し、有能なデザイナーを広くPRする。

#### ・優れたデザイン商品等の評価認定事業の実施☆

食品、衣料品、インテリア、観光、サービス等広く消費者のマーケットで認知される商品・サービスをクローズアップし、「デザイン都市・神戸」の魅力をより具体的に発信していくため、神戸らしいデザインを意識した(design conscious)商品・サービスを公募し、デザイン都市・神戸を代表する企業経営者等の目利きにより、優れた商品等を評価、認定、推奨する事業を実施する。

#### ・デザイン経営に関するセミナーの開催☆

企業経営におけるデザイン戦略の重要性について、啓蒙・普及を図るため、デザイン経営セミナーや勉強会をシリーズで開催する。

また、当商工会議所主催のデザイン関連事業や商談会等において、商品開発や広告宣伝、ウェブデザイン、店舗ディスプレイなど企業活動全般におけるデザインの活用方法や課題等に関する無料相談コーナーを併設する。

#### ・都心ウォーターフロントの活性化促進

「デザイン都市・神戸」に相応しい都心ウォーターフロントの景観を整備するため、南北アクセスルートの改善や国道2号線北側からウォーターフロントへの視界の妨げになる周辺建物の移転等を神戸市などに働きかけるとともに、デザインの情報発信拠点「デザイン・クリエイティブセンターKOBЕ(仮称)」の積極的な活用を促進する。

### 3. 次世代スーパーコンピュータの利用促進

#### ・次世代スーパーコンピュータの整備推進

国家基幹技術の一つである次世代スーパーコンピュータ(京速コンピュータ「京」)の平成 24 年完成、本格稼働に向けた着実な整備のため、兵庫県、神戸市、(財)計算科学振興財団、関経連等と連携し、文部科学省、理化学研究所等に対して、所要の予算確保等を求める。

#### ・(財)計算科学振興財団、次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会を中心とした産業利用の促進と裾野拡大・底上げ支援

次世代スーパーコンピュータ(京速コンピュータ「京」)の産業利用促進のため、(財)計算科学振興財団及び次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会等と連携し、全国の企業を対象に利用促進を図る。

併せて、(財)計算科学振興財団が高度計算科学研究支援センターに設置するFOCUSスパコンの活用により、地元企業等のスパコン利用の裾野拡大、底上げ支援を行う。

## IV. 環境と経済の両立を踏まえた地球環境問題への対応

### 1. 環境ビジネスの振興

#### ・大手・中小企業の省エネ・マッチングフォーラムの開催☆

温暖化防止への取り組みは、経営コストの削減や事業効率の改善に繋がるとともに、環境関連の技術革新や商品開発など新たな成長への原動力となり得ることから、環境ビジネスの中でも、即効性が高く、コスト削減につながる省エネ・新エネをキーワードに、大手・中小企業間で技術・設備機器・システム等を相互に提案するマッチングフォーラムを実施する。

#### ・中小企業のための環境ビジネスセミナーの開催☆

中小企業に対し、環境ビジネスのトレンドを中心に、環境関連法制度や環境経営の動向に関する情報提供を行うため、シリーズ形式のセミナーを実施する。

### 2. 地球環境問題への対応

#### ・国内クレジット制度ソフト支援事業の実施☆

中小企業等における国内クレジット制度(大企業等の技術・資金提供により、中小企業等が行った CO2 排出削減量を認証し、自主行動計画等の目標達成のために活用する仕組み)の活用を促進するため、地元大手・中小企業を対象とした相談窓口を設置するとともに、普及啓発セミナーを開催する。

## ・地球温暖化対策の中期目標、環境税等に関する意見・要望活動の実施

わが国の温暖化対策の中期目標の策定において、「国際的な公平性」、「環境と経済の両立」が確保されるよう、日本商工会議所等と連携のもと、国等関係機関に対して働きかけを行う。

# V. 大河ドラマなどを活用した集客力強化と都市魅力の発信

## 1. 観光集客の推進

### ・大河ドラマ「平清盛」などを活用した国内観光客の誘致強化☆

国内各地で地域の特色を活かしたモデルツアーが企画・実施されるなど、観光客誘致に関する都市間競争が激化している状況を踏まえ、神戸の観光資源を活かした国内観光客の誘致強化を図る。

特に、平成24年の大河ドラマが「平清盛」に決定したことを受け、清盛や平家ゆかりの地をめぐる街歩きツアーの実施や、平清盛に関するセミナーなどを開催する。

### ・インバウンド誘致事業の実施☆

神戸・兵庫を訪れる外国人観光客数の拡大を図るため、年間訪日観光客数が多い韓国、中国、台湾などを対象に、インバウンド誘致に向けた取り組みを行う。

特に、台湾に関しては、神戸との歴史的なつながりの深さや高い親日感情、年間100万人を超える訪日観光客数といった下地を活かし、台湾現地において神戸・兵庫の魅力をアピールするキャンペーンを実施する。

また、地元事業者などのホスピタリティの向上を図るため、外国人観光客受け入れに関するセミナーを開催する。

さらに、各種案内表示の多言語化、市内事業所の銀聯カード決済システム導入支援、公的な観光関連施設の営業時間延長など、外国人観光客の便宜に資する事項について、市や関係各所へ働きかける。

### ・京都・大阪商工会議所等との連携による広域観光の推進☆

特にインバウンド誘致に関しては、京都・大阪商工会議所や観光協会などとの連携により、従来のゴールデンルート(関空 IN、成田 OUT)ではなく、関空から入国し、京都、大阪、神戸を周遊して関空から帰国するような「関西版ゴールデンルート」を開発するなど、広域観光への取り組みを推進する。

## 2. 市内各地域における賑わい創出

### ・神戸ルミナリエや神戸まつり、神戸マラソンなど集客イベントの開催支援

神戸ルミナリエの継続開催に向け、引き続き神戸ルミナリエ組織委員会(会長:大橋会頭)の一員として、企業協賛金・募金の確保や募金グッズ販売をはじめ、事業運営

全般にわたり協力する。

また、神戸まつりについても、主催者である神戸市民祭協会（顧問：大橋会頭、副会長：岩田副会頭）の一員として、引き続き企業協賛の募集に当たる。

さらに、平成 23 年 11 月 20 日に開催される第 1 回神戸マラソンについては、神戸マラソン実行委員会（名誉会長：大橋兵庫県商工会議所連合会会頭）の一員として、大会運営及び関連イベントの開催支援に努める。

#### ・商店観光ツアーの実施などを通じた地域の賑わいづくり

平成 22 年度に支部を中心に市内 12 ヶ所で実施した商店観光ツアーの成果を踏まえ、当年度は、地域の商業者などが自ら地域の魅力をアピールし、継続的にファンづくりを行うためのツアー開催をサポートする。

また、「なだ・家族の日（週）」事業（灘区）や、垂水の店舗・商品などをPRするWEBサイト「たるまっぷ」（垂水区）の運営など、各支部を中心に、地域の賑わいづくりに向けたイベント等に取り組む。

#### ・神戸学検定の実施

神戸に関する幅広い知識を持つことを通じて、神戸を訪れる多くの人を温かく迎え入れるまちづくりや人づくりを進め、観光集客の拡大にも繋げていくことを目的に、「神戸学検定」を引き続き実施する。

平成 23 年度は第 5 回目を迎え、初級・中級に加えて、新たに上級検定を施行するとともに、継続実施に向けた受験者の確保や公式テキストの改訂作業などを進める。

また、受験者の確保・拡大に向け、地元の観光関連企業・団体、金融機関、学生層などへの働き掛けや、事前告知策としての新たな話題づくりにも努める。

## VI. 神戸空港、国際コンテナ戦略港湾阪神港など産業インフラの競争力強化

### 1. 神戸空港の機能強化及び関西3空港の一体的効率運用の実現

神戸空港の規制緩和（運用時間延長・発着枠拡大）による利便性向上を目指し、兵庫県・神戸市や経済界が一丸となり、地元合意を形成するとともに、国などに強力に働きかける。

併せて、地元行政・経済界で構成する「関西 3 空港懇談会」など関係機関と協議・連携しながら 3 空港の一体的効率運用の早期実現を図る。

### 2. 国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた支援

平成 22 年 10 月、阪神港が国際コンテナ戦略港湾に選定されたことを受け、阪神港の国際競争力強化に向けて、引き続き「阪神港国際コンテナ戦略港湾促進協議会」の一員として、取り組み推進に必要な要望活動を行うとともに、阪神港の優位性のPRや港湾経営主体の民営化推進、創荷のための企業誘致などに努める。

### 3. 大阪湾岸道路西伸部など幹線道路網の整備促進

大阪湾岸道路の六甲アイランド以西の早期着工・全線開通に向けて、引き続き、当商工会議所が事務局を務める「大阪湾岸道路建設促進協議会」(会長:大橋会頭)を中心に、国への要望活動等を推進するとともに、兵庫県・神戸市と連携し、具体的な事業手法等の検討を行う。

また、関西の行政・経済界で組織する「京阪神高速道路整備促進協議会」の一員として、淀川左岸線や名神湾岸連絡線など、関西の高速道路ネットワークのミッシングリンク解消に向けた取り組みを推進する。

## Ⅶ. 組織基盤の強化と会員メリットの拡充

### 1. 会員組織力の強化

#### ・会員増強の推進

会員組織の維持・強化を図るため、会員増強推進月間の設定をはじめ事務局全体による組織強化活動を実施する。

また、会員増強専従者の雇用や外部営業コンサルタントの活用など、新たな入会促進への取り組みを検討する。

#### ・会員フォローアップ活動の実施

当商工会議所の事業活動への利用・参画状況を把握し、会員定着率の向上を図るため、新会員を対象とする職員訪問をはじめ、会員へのフォローアップ活動を実施する。

#### ・1 会員 1 社紹介運動の実施

会員からの紹介による会員の輪の拡大、組織強化を図るため、「1 会員 1 社紹介運動」キャンペーンを引き続き実施する。

当年度は、新たに紹介実績に応じた顕彰制度を設けるなど、キャンペーンの成果拡大に努める。

### 2. 会員参加型事業の拡充

#### ・女性経営者倶楽部など経営者勉強会・研究会の開催

経営に関する知識や情報の収集、メンバー同士の交流促進などを目的に、「女性経営者倶楽部」、「第二創業を目指す企業家の集い」の運営や、「東金会」、「長田活性化研究会」、「若旦那の会」、「さん金会」、「Nishi's Club」など地域別の経営者勉強会・研究会を開催する。

#### ・ビジネス交流会の拡充

会員間におけるビジネスネットワーク拡大や取引先の開拓を支援するため、会員ミーティング、会員ビジネス交流会、新会員懇談会、支社長・支店長懇談会等の交流事業を引き続き開催する。

### 3. 会員サービス事業の拡充

#### ・共済・保険制度、労働保険事務組合など会員サービス事業の運営

会員企業の経営者や従業員を対象とした生命共済をはじめとする各種共済・保険制度、労働保険事務組合、健康管理サービスなどを引き続き実施する。

#### ・スケールメリット等を活用した新たな会員サービスメニューの開発

当商工会議所のスケールメリット等を活用し、会員企業の経営者、従業員の福利厚生向上や、経費削減に資する事業など会員サービスメニューの一層の拡充を図る。

特に、「こうべ de カード」(クレジットカード包括代理契約事業)においては、中国人観光客の増加に対応するため、「中国銀聯カード」が利用できるよう、サービスの拡充に取り組む。

### 4. 広報機能の強化

#### ・支部通信「KCCI CROSS」及び「指導成果事例集サポートガイド」の発刊☆

経営支援活動の成果を広く周知し、企業、行政、市民などに対し、事業内容の理解を深めるとともに、支援メニューの一層の利活用促進を図るため、各支部の取り組みを紹介するリーフレット「KCCI CROSS」を作成する。

また、経営改善に至った事例を「指導成果事例集サポートガイド」として冊子にとりまとめ、会員事業所等に配布する。

#### ・商工会議所活動に関する情報発信の強化

当商工会議所の事業活動への理解や会員の参画を促すため、会報誌やホームページ等を通じて、活動内容を積極的かつタイムリーに紹介する。

また、広く地域社会に当商工会議所の考えや事業内容等を発信するため、正副会頭による記者会見や、神戸経済記者クラブとの懇談会等を実施する。

### 5. 景気回復等に向けた政策要望・提言活動の強化

#### ・中期行動計画(経済ビジョン)の策定☆

神戸経済を取り巻く社会経済情勢の変化などを踏まえ、中期的な観点から当商工会議所が取り組むべき活動内容等を定めるため、新たに中期行動計画(又は経済ビジョン)を策定する。

策定にあたっては、正副会頭、委員長、部会長等へのヒアリング実施をはじめ、会

員各層はもとより、行政など関係先からも広く意見を求める。

#### ・地域経済動向調査の実施

景気・経済動向や企業活動の実態を把握するため、日本商工会議所との共同により、会員企業等に対し、「LOBO 調査(早期景気観測)」や「地域経済四半期動向調査」など定期的な経済動向調査を行う。

## 6. 広域連携・産学連携等による事業効果の発揮

#### ・関西広域連合の取り組み支援☆

平成 22 年 12 月 1 日、関西の 2 府 5 県が結集し、全国初の広域連合として「関西広域連合」が設立された。当面は、防災、観光・文化振興、産業振興など 7 分野の広域事務からスタートするが、将来的には大阪湾内諸港や関西 3 空港一元管理等に拡大していくことも視野に入れている。

当商工会議所として、関西広域連合を支援するとともに、広域的な観光振興や産業振興などを神戸経済の活性化に繋げるため、「関西広域経済懇談会」(仮称)への参画や、京都・大阪など近隣商工会議所等との共同事業に積極的に取り組む。

#### ・近畿商工会議所連合会、兵庫県商工会議所連合会との連携強化

景気対策の実行をはじめ、国の経済運営や税制・法制の改正、インフラ整備等に対し、関西経済界の声を反映させるとともに、中小企業の海外展開や販路拡大等について共同で取り組むため、近畿商工会議所連合会、兵庫県商工会議所連合会など関係団体との連携強化をはかる。

#### ・大学との合同セミナー、交流会など産学連携の推進

神戸大学との合同により、「KOBESERVICE・イノベーション研究会」を引き続き運営し、付加価値の高いサービスを提供している企業の事例等について調査研究を行う。

また、兵庫県立大学や甲南大学など地元大学が有する技術を企業に紹介するセミナーや交流会などを実施し、産学連携を推進する。

以 上